



▲デンマーク王国で、かけがえのない経験をした平成30年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団

**海外での貴重な体験を報告**  
**平成30年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国報告会**  
 10月5日(金)、市民会館で、平成30年度の登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団による『帰国報告会』(市主催)を行いました。  
 8月9日(木)から18日(土)までの日程で、デンマーク王国に派遣された6人の中学生は、『建物』・『スポーツ』・『音楽』・『子どもの遊び』・『交通機関』・『公共施設』といったそれぞれの研修テーマについて、学んだことや感じたことなどを発表。『子どもの遊び』をテーマとした和田笙さん(北海道登別明日中等教育学校1回生)は、「言葉が通じなくても、みんな一緒に遊ぶことでつながりを感じて、仲良くなることができました」と話していました。

10/5

過去の自然災害から学ぶ

自主防災組織防災研修会

9月28日(金)、九州・南西諸島の防災対策に従事しながら、三陸沿岸の復興復旧支援に携わる鹿児島大学共通教育センター教授の岩船昌起さんを講師に招き、市民会館で『自主防災組織防災研修会』(市主催)を開催しました。

同研修会では、『避難行動と避難生活』自主防災組織の役割を考える』と題して講演が行われ、参加した約100人の参加者は、地震や津波、噴火など、市内で発生しうる災害の特徴について、他地域で発生した実例など、日頃の地域防災の参考となる取り組みを学びました。

9/28



▲他の地域で『自主防災組織』が実際に行った事例などについて紹介された講演

9/26

市バスで見学ツアー

登別市民憲章制定50周年記念  
平成30年度市民見学会

9月26日(水)、市内で『平成30年度市民見学会』(市主催)を開催し、約20人の参加者が市内の施設を見学しました。  
 市民見学会は、市民に市内の施設を実際に見てもらいながら、施設担当者などによる説明を聞き、市のまちづくりなどの様子を知ってもらうために、毎年実施しているものです。  
 今回は、『婦人センター』、『登別漁港』、『しんた21』、『鷺別児童館』、『鷺別小学校』、『株式会社パロマ北海道工場』の6カ所の施設を見学。新たに建設した施設や設備を見て回ったほか、施設内で論語講座や工場見学などを行い、市内の魅力を再発見してもらいました。  
 施設の概要や建設の経緯などの説明を聞いた参加者は、「市内に住んでいても、まだまだ知らないところがたくさんあり、今回の見学でもとても勉強になった」と施設見学を通じて、市のまちづくりについて理解を深めていました。



▲安定した水の供給を行うための製氷・貯氷施設(登別漁港内)



▲太陽光を利用して自家発電を行うソーラーパネル(しんた21)